



数々の五輪に選手を送り出している天満屋女子陸上競技部。その監督を務めている名指導者・武富さんと横尾市長による新春対談。
女子選手育成への取り組みや故郷多久市での思い出などを語り合っていました。

—令和元年を振り返って

市長 明けましておめでとうございます。武富さん、ご多忙な中に、多久に来ていただき感謝しております。令和元年は、その名のごとく麗しく和やかな時代を期待して始めました。

その一方、昨年8月の大雨で多くの被害を受け、全国からのボランティアや応援職員などの助けをいただき、ご縁のありがたさを感じ

ました。気持ちと体を動かして、みんなの力で復興・

復旧に急がねばと思っております。いろいろな問題があっても前向きに捉えていくことの大事さを改めて実感した年でした。

武富 私も大雨の時は心配で、多久の親戚に連絡をと

り、無事と聞いて安心しました。昨年は東京五輪を目指し、取り組んで来たことが結果に繋がった年でした。

市長 前田穂南選手の東京五輪出場権獲得おめでとうございます。

武富 ありがとうございます。東京五輪を目標に一生懸命に取り組んできた結果です。

—多久での思い出

武富 休みの時も陸上部の仲間と天山に登って小城まで走っていました。多久工業高校(現・多久高校)のグラウンドもよく走っていましたね。多久は練習するのに良い環境でした。

市長 市内を駆け回られていたんですね。監督は今もマラソンをされますか？

武富 マラソンは無理ですが毎朝、家から練習場まで走っています。監督するにも体力が必要なので、監督を続けるために身体を動かしています。

市長 素晴らしいですね。人生100年時代に突入し、市内でも毎年10人以上の人が新たに100歳を迎えられています。市では高齢者の健康づくりとして、100歳体操という運動を啓発・推進しています。新たに整備した西多久多目的運動広場も九州ジュニアU-11サッカー大会など、いろいろな競技で活用してもらっています。

「スポーツ」には気分がリフレッシュするや楽しむという意味があります。災害対策をしつつもみんなが元気に暮らせるサポートができるような健康づくりに取り組んで行きたいですね。

—世界に通じる一流選手の育て方

武富 個性や体の作りも違いますから、日誌を通して一人ひとりと思いと共有し、日々のデータを考慮して目標設定やトレーニングをしています。それと毎朝の練習といった積み重ねです。

市長 日々のチェックと練習の賜物ですね。多久市ではICT教育を推進し、一人ひとりの学習進捗状況を把握して、的確な指導に努めています。マラソンの指導にも通じると思いました。

